

# 岡山県 環境に関する県民等意識調査 報告書(概要版)



岡山県マスコット  
うらっち ももっち

平成28年7月  
岡山県

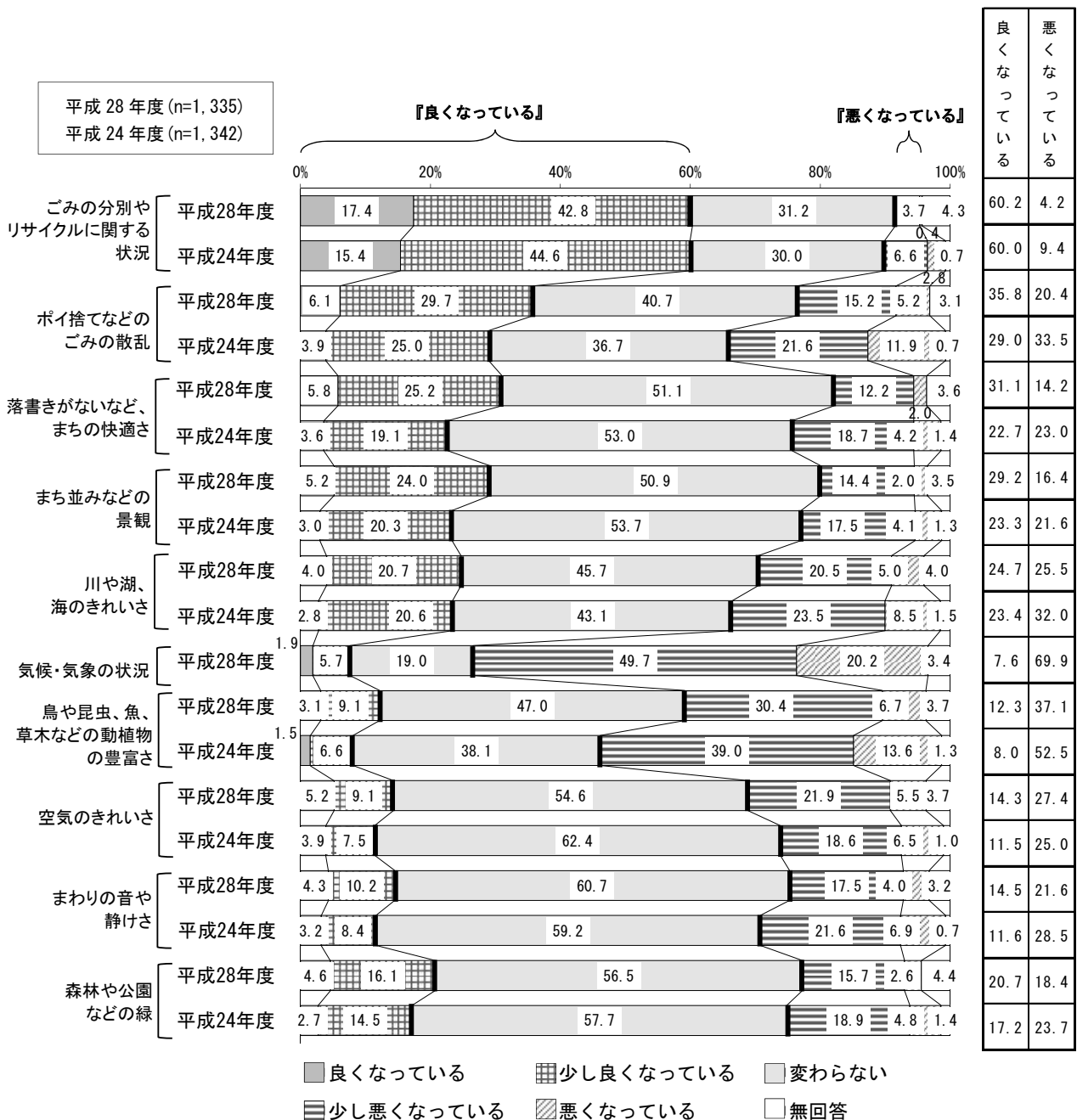
## 調査の概要

- 調査目的 : 新岡山県環境基本計画エコビジョン 2020 (以降、エコビジョンと略す) の見直しにあたり、県民の環境保全意識の変化や県民ニーズを調査し、同計画に掲げる主要施策・重点プログラムの見直しのための基礎資料とする。
- 調査地域 : 岡山県全域
- 調査対象 : 県民調査 20歳以上の県内在住者  
事業所調査 従業員数30人以上の県内の事業所
- 標本数 : 県民調査 2,500人  
事業所調査 500社
- 調査方法 : 郵送配布一郵送回収
- 調査期間 : 平成28年5月~6月
- 有効回収数 : 県民調査 1,335件 (有効回収率 53.4%)  
事業所調査 223件 (有効回収率 44.6%)

## ■ 県民調査 ■

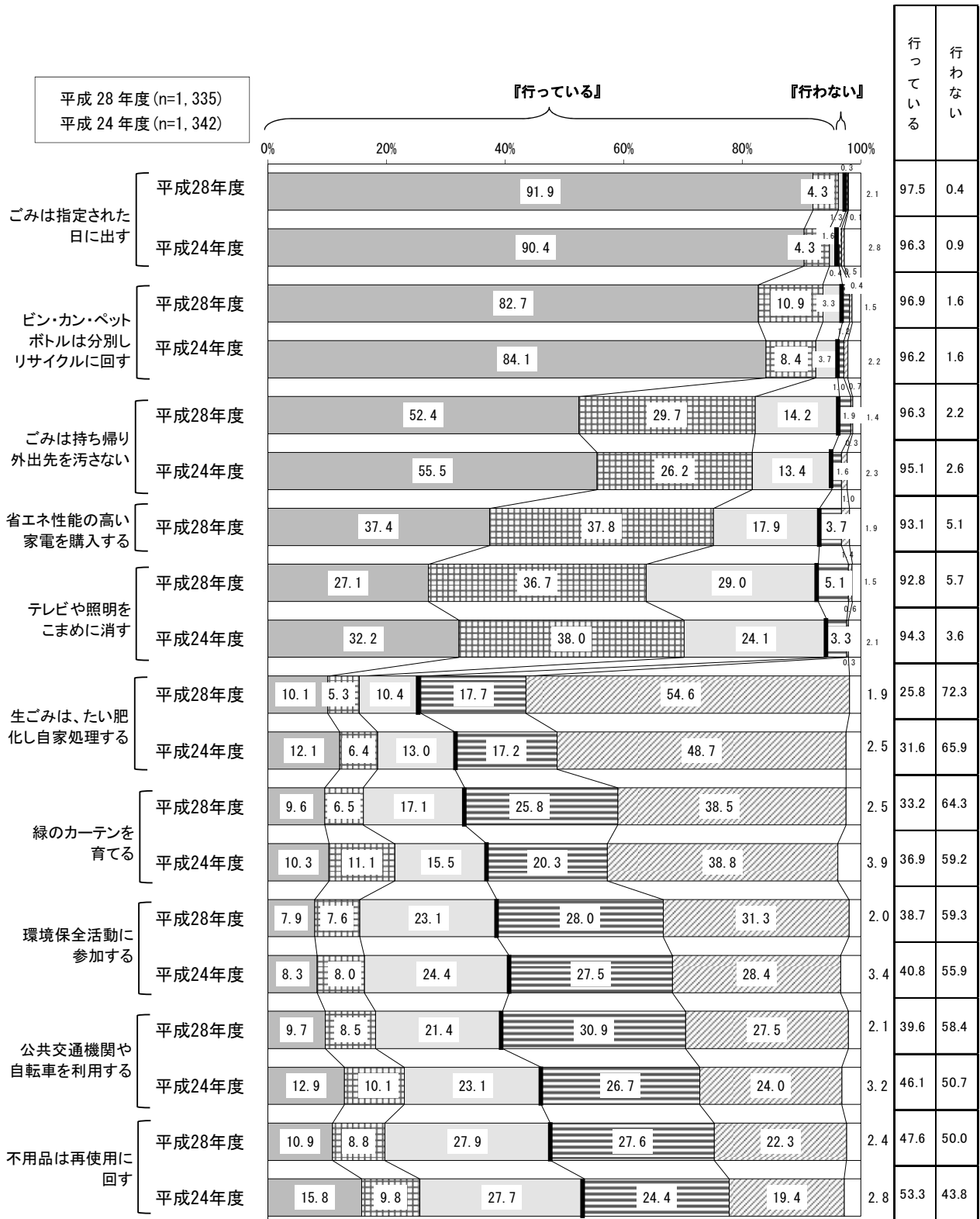
### <現在の環境に対する実感>

「ごみの分別、リサイクル」は約6割が『良くなっている』、「気候・気象の状況」は約7割が『悪くなっている』と実感



## <環境に配慮した行動についての日頃の実行度>

「ごみは指定された日に出す」は9割超の人が「いつも行っている」、「生ごみは、たい肥化し自家処理する」は5割台半ばの人が「全く行わない」

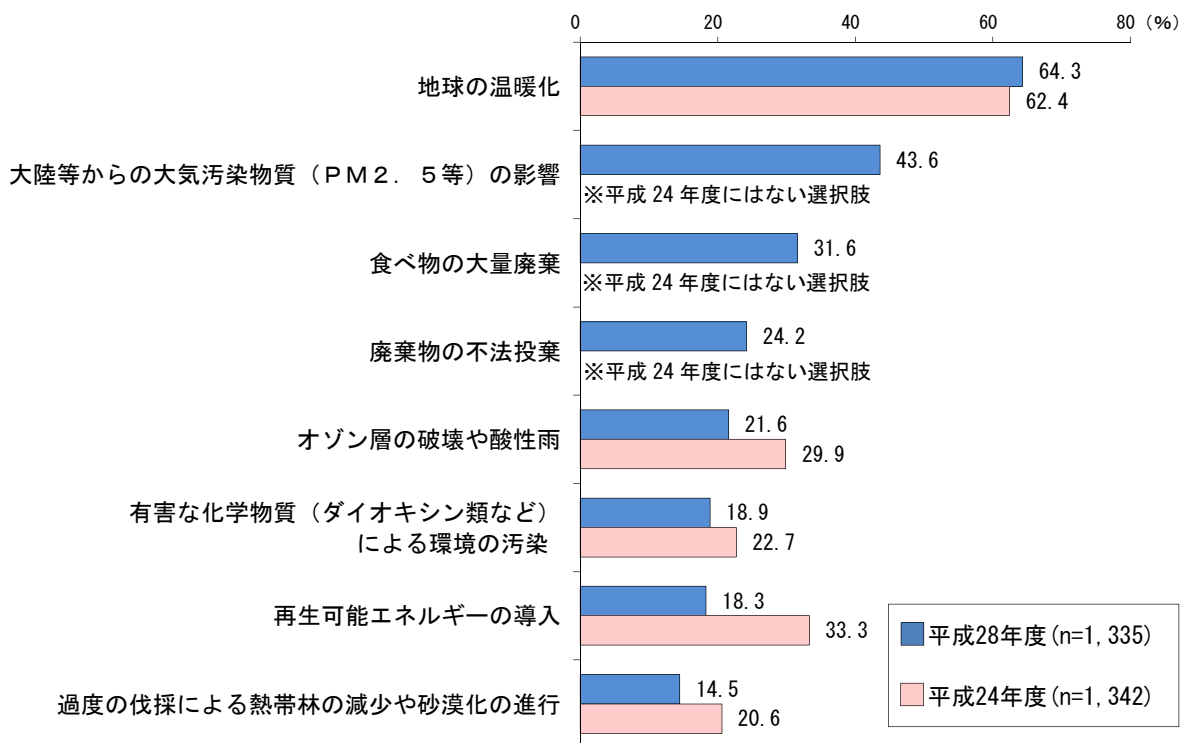


いつも行っている
  かなり行っている
  たまに行っている
  ほとんど行わない
  まったく行わない
  無回答

## < 関心のある環境問題（上位 8 項目） >

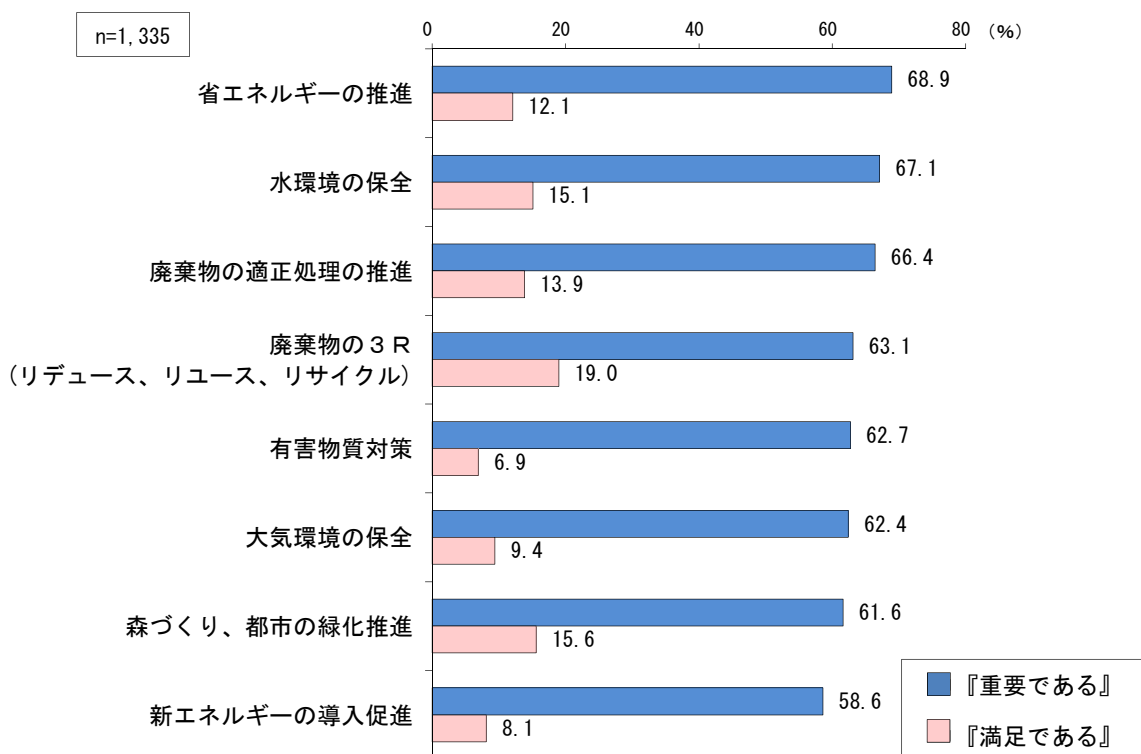
「地球の温暖化」、「大陸等からの大気汚染物質の影響」、「食べ物の大量廃棄」などへの関心が高い

< 複数回答 >



## < 岡山県が行っている環境に関する施策の重要度・満足度（重要度上位 8 項目） >

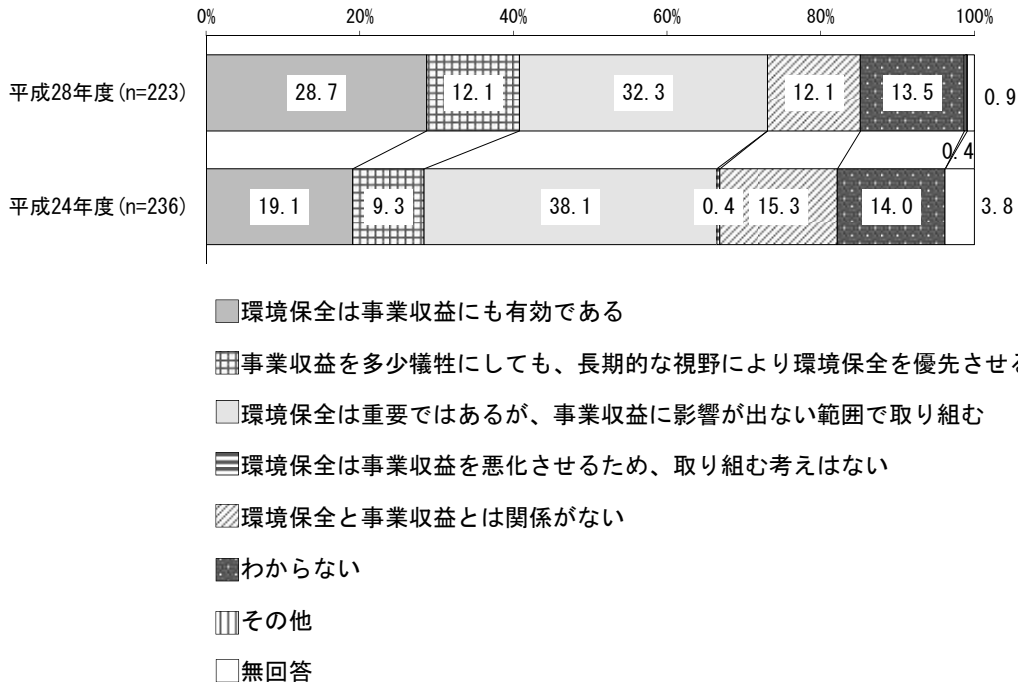
重要度では「省エネルギーの推進」が約 7 割と最も高く、満足度では「廃棄物の 3R」が約 2 割と最も高い



## ■ 事業所調査 ■

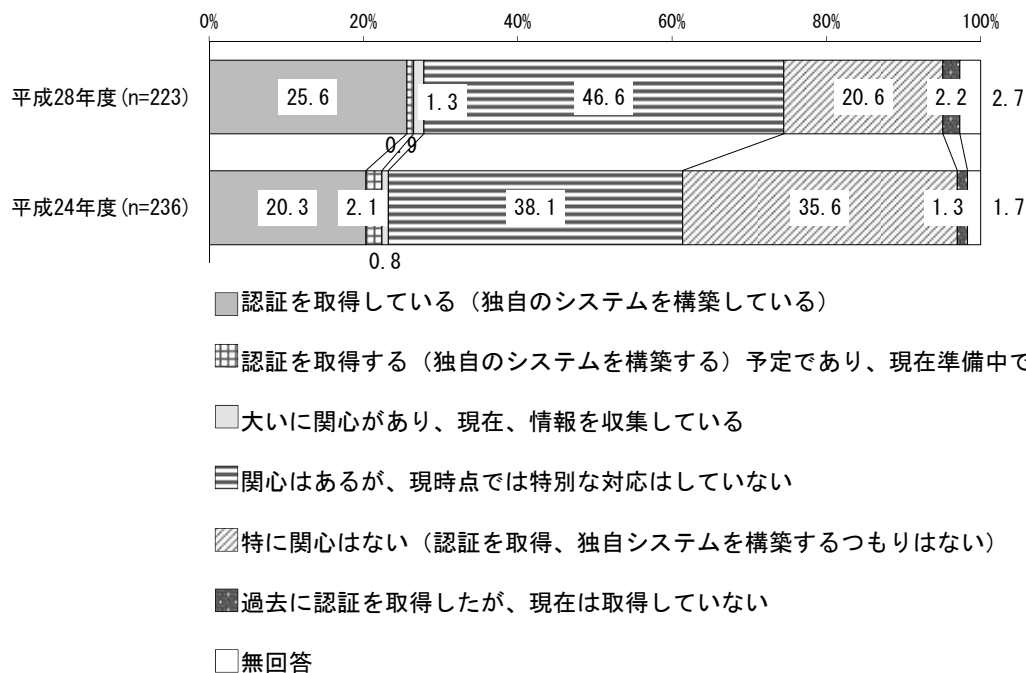
### <環境保全と事業収益との関係>

「環境保全は事業収益にも有効である」、「事業収益を多少犠牲にしても、長期的な視野により環境保全を優先させる」といった回答が増加しており、環境保全に対する意識の向上がみられる



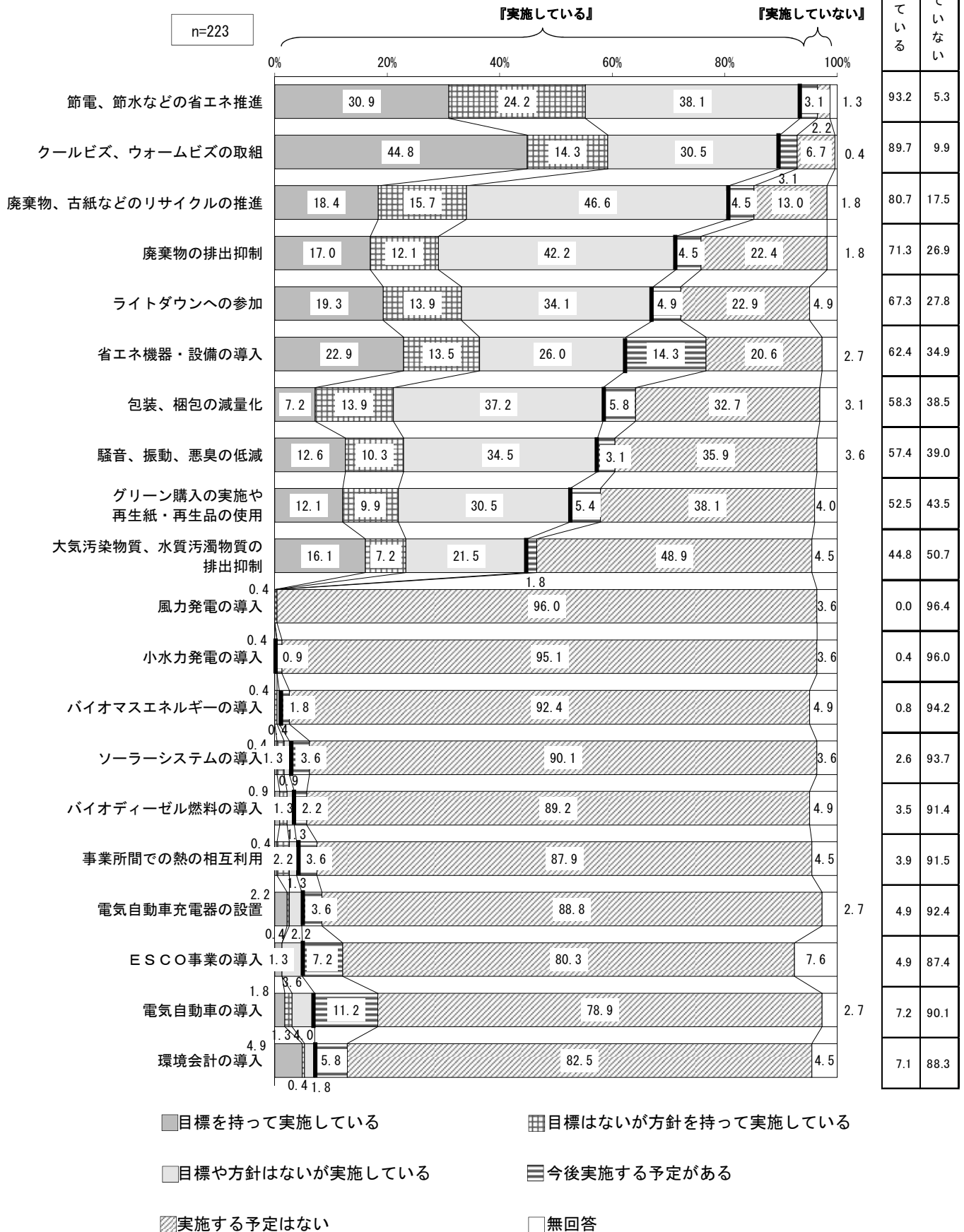
### <環境マネジメントシステムの取組状況>

「認証を取得している（独自のシステムを構築している）」、「関心はあるが、現時点では特別な対応はしていない」との回答が増加、「特に関心はない（認証を取得、独自システムを構築するつもりはない）」との回答が減少している



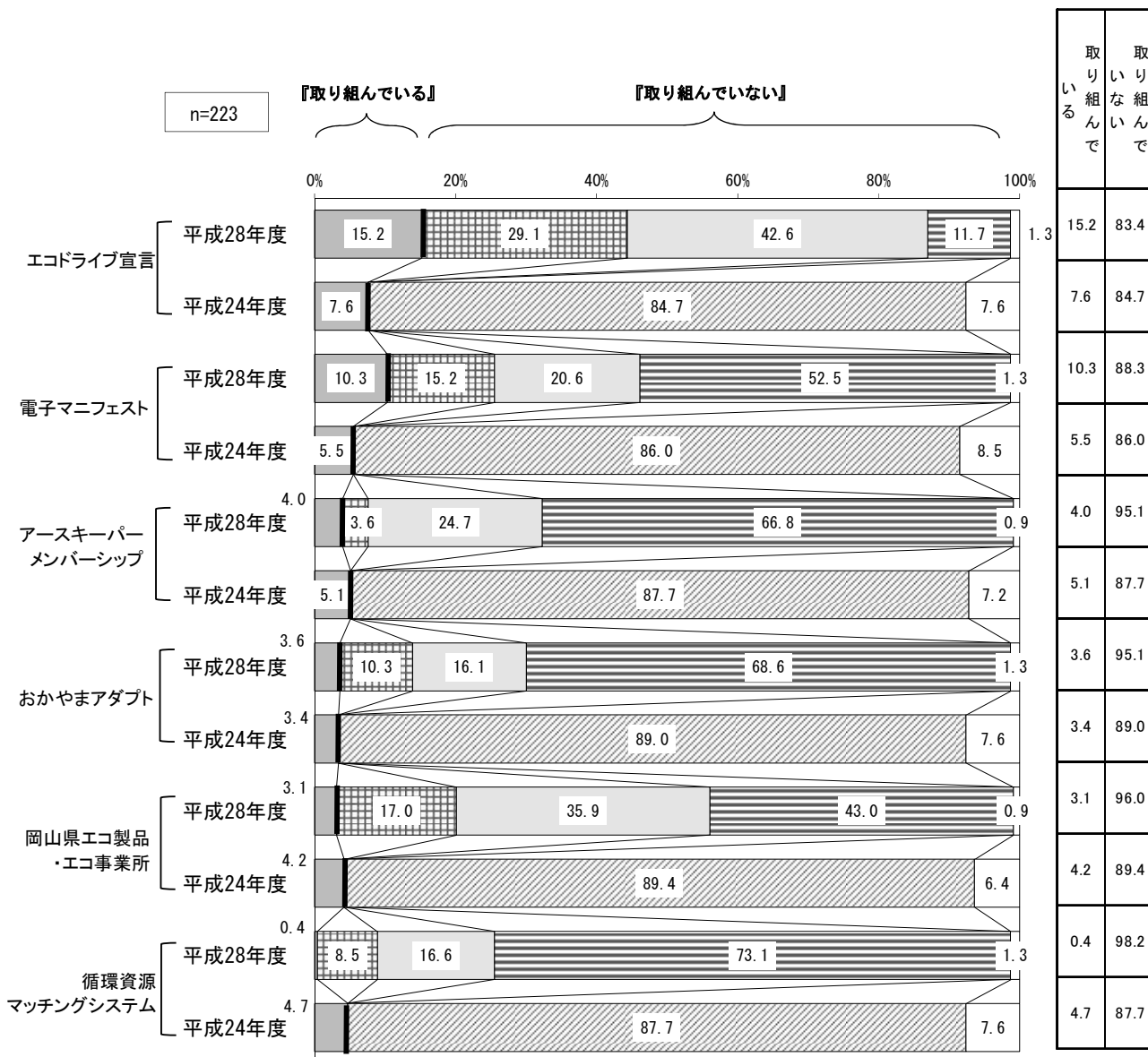
## <具体的な企業活動の実施状況>

「省エネ推進」、「クールビズ等の取組」は9割前後の事業所が『実施している』、「風力発電の導入」、「小水力発電の導入」は9割台半ばの事業所が『実施していない』と回答



## <岡山県が進めている取組の認知度>

「エコドライブ宣言」は4割超の事業所が「聞いたことはあるが内容は知らない」、「循環資源マッチングシステム」は約10割の事業所が『取り組んでいない』と回答



■実際に取り組んでいる（取り組んだことがある）

▨聞いたことがあり、内容もよく知っている

▩聞いたことはあるが、内容は知らない

▧知らない

▨取り組んでいない

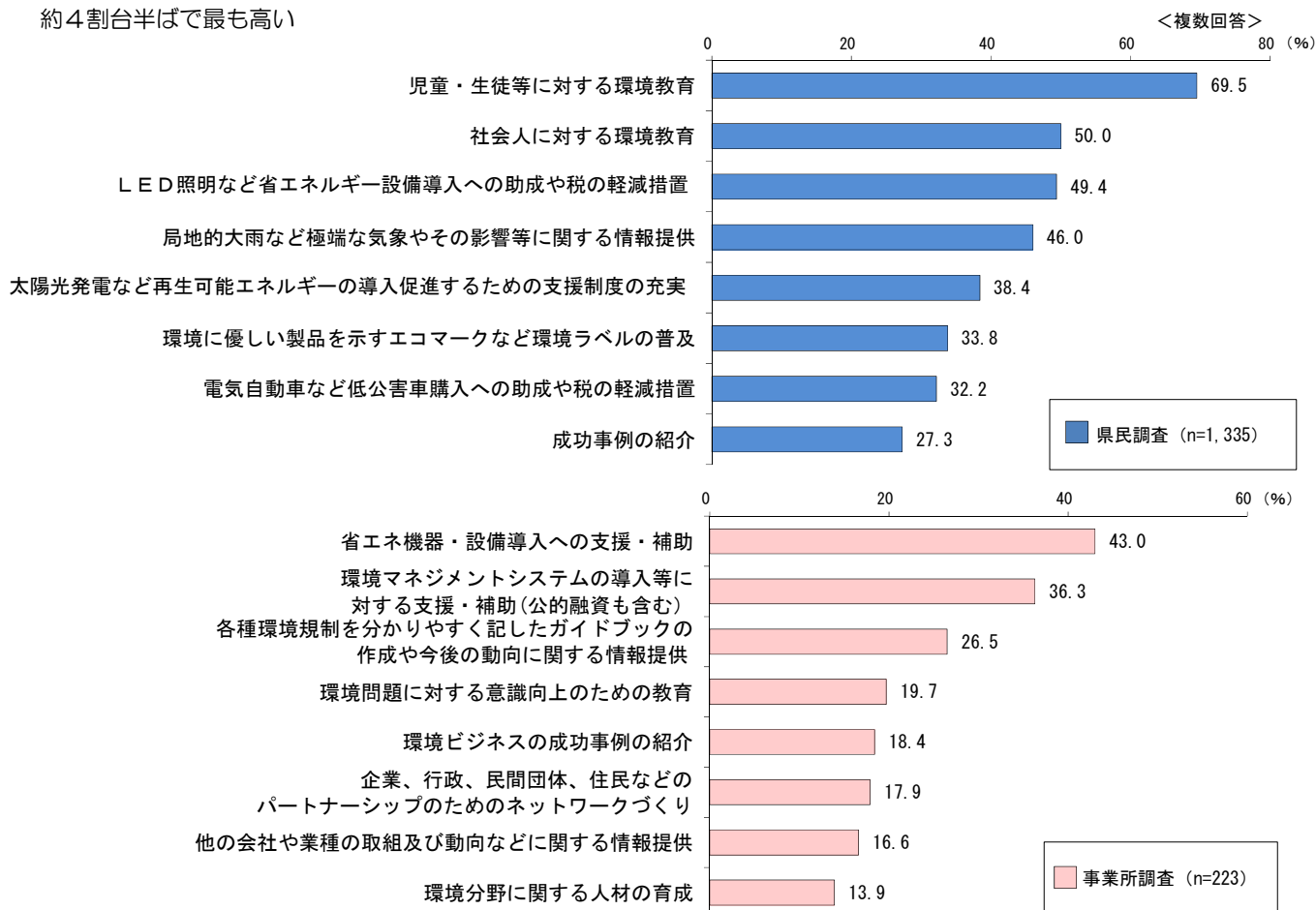
□無回答



## ■ 県民調査と事業所調査の比較 ■

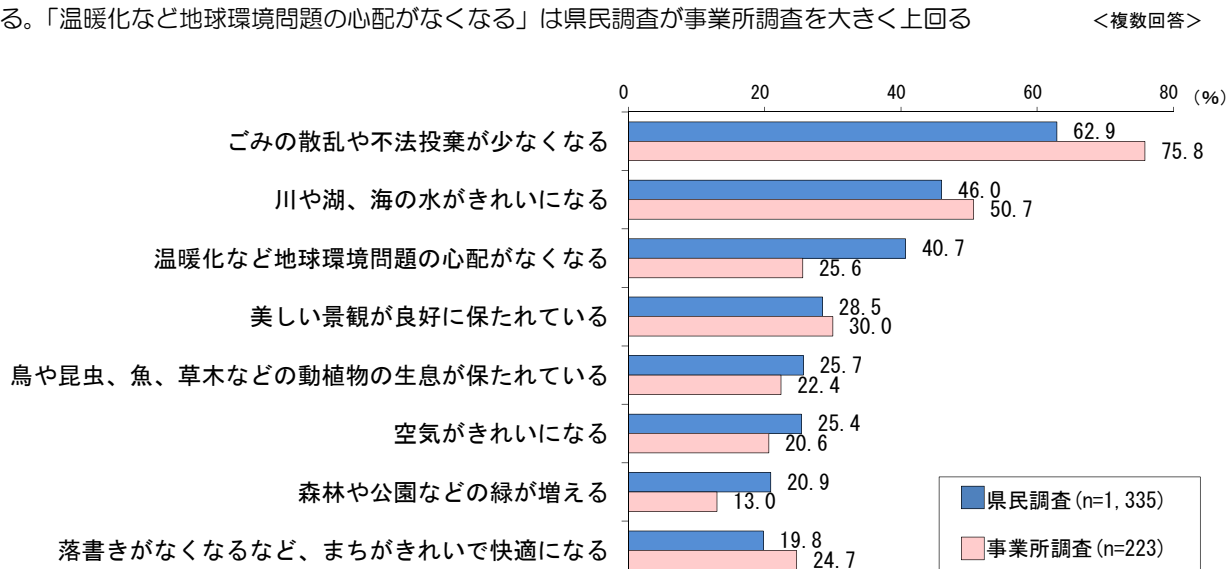
### <環境保全推進のために行政に期待すること（上位8項目）>

県民調査では「児童・生徒等に対する環境教育」が約7割、事業所調査では「省エネ機器・設備導入への支援・補助」が約4割台半ばで最も高い



### <2020年頃の県の環境のあるべき姿（上位8項目）>

県民調査、事業所調査とも「ごみの散乱や不法投棄が少なくなる」が最も高く、事業所調査では7割台半ばと特に重視されている。「温暖化など地球環境問題の心配がなくなる」は県民調査が事業所調査を大きく上回る



岡山県環境文化部 環境企画課 施策推進班  
 〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号  
 TEL : 086-226-7285 FAX : 086-233-7677  
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/238/>